

## 住職からのご挨拶

当院の運営を任されて十三年が経過いたしました。激動の月日をおかげさまで充実に送らせていただきました。今回のチラシのコンセプトは「すべてのものに料金を提示しない」ということにしました。信頼と信用と品質を第一に考え、全体最適三方よしを志向することになりました。古くて新たならしい価値観。伝統的格式と現代的革新を融合させて今の令和の時代を見つめていきます。最終的にはお客様に評価していただきお気持ちだけで維持できる寺院運営を目指します。「正しい人事を尽くして運を天にすべて任せ」そんな人生を歩んでゆきたいと考えてます。

選択×集中×情熱×挑戦 〓 仕事の結果

利他心（信仰心）×知識×努力×経験 〓 人生の結果

私はこれまでさまざまな人の人生を拝見してきて結果的にうまくいく人、しあわせになれる人とはどんな人なのか。考えてみました。これは私の持論ですが利他（与える）のころをもった人。人のしあわせを常に優先して考えられる人。自己犠牲、滅私奉公ができる人。我欲の少ない人という結論に至りました。当院を去っていった（辞めていただいた）人にはひとえにこれがなかったということが分析できました。因みに当院では自ら職を辞した人。去っていった（檀）信徒はほぼいません。泣きながら去っていった人はいます。今後の人事採用時の決め手の一つにして人間力向上に努めていきたいと思えます。お釈迦様の人生は「唯我独尊」で始まり「自灯明法灯明」で終わりました。すべての人生の責任は自分にあります。決して他のせいにする事なく鏡に映る本来の自己と向き合って生きてゆきたいと思えます。

令和三年四月八日

釈尊降誕会

※① じとうみょうほうとうみょう



見性院 橋本英樹住職



「利行は一法なり。あまねく自他を利するなり。」  
 （利他行、つまり自分のことを忘れて人のために尽くすことはすべての教えに通じることである。すなわちその行為はあらゆるものに利益と幸福をもたらすものである。）

※② 『正法眼蔵』 『菩提薩埵四摂法』

※③ しょうぼうげんぞう

ぼだいさつたししょうぼう

### 見性院ロゴマークについて

中の見は見性院の「見」の字をモチーフにしています。「見」には仏教の八正道の中の「正見」（物事を正しく見て正しく実践すること）を表現させていただきました。このロゴマーク（目）のかたちは層の厚い、重層感のある筒状の立体を末広がりの二本が支えることでバランスをとっています。2本の支えは左右対象で仏教の「中道」を意味します。「目」である筒状の立体は老若男女が一丸となって役割分担をし、相互扶助でもって共存共栄していることを表わします。楕円形の〇は調和と懐の深さを縦横無尽に表現しました。

禅宗とは理屈ではなく本質を重視します。直接に人の心に突き刺さるものです。感動ありきです。仏のころとは思いやりであり利他です。そのころは本性を揺さぶるものです。その本性を見つけ出すことが見性成仏です。当院の寺名の由来です。



達磨大師（京都 天龍寺所蔵）

### 達磨大師のことば

教外別伝  
 不立文字  
 直指人心  
 見性成仏

見性院は来る者は拒まず去る者は追わず。困っている人に手を差し伸べていく駆け込み寺。庶民感覚をもったみんなのお寺です。



見性院ロゴマーク

けんしょういん  
 みんなのお寺 見性院

〒360-0161 埼玉県熊谷市万吉797  
 受付時間 9:00~17:00 〈年中無休〉

熊谷 見性院

検索



ごらく くよう  
 0120-599-940

●メールでのお問い合わせ@kenshouin.com

●FAX 048-536-2019

※葬儀など緊急の場合は24時間対応いたします。

お墓のことでお悩み、お困りごと（改装やお墓の移転等）についてもお気軽にご相談ください。